

## 平成24年度みんなの審査会(新さかい)審査結果(概要)

事業番号	Ⅲ-3	事業名	環境教育推進事業			
所管	教育委員会事務	局	学校教育	部	学校企画	課

## 【事業内容】

ESDプログラム実施業務は、公募プロポーザルにより業者を選定し、環境や食、生物多様性、水等をテーマに7～8校でプロジェクト型学習プログラムを実施する。  
グリーンカーテン整備推進事業は、50校程度の学校園を指定し、ゴーヤの栽培体験を行う。

総コスト(千円) (平成23年度決算額) 14,804千円 (平成24年度予算額) 14,322千円

## 【審査員・検討委員から頂いた審査シート記載内容】

## 【今後の方向性】

<審査員>						<検討委員(参考意見)>						
今後の方向性	事業の方向性	拡充			1	今後の方向性	事業の方向性	拡充			2	
		現状維持		4	2			1	現状維持		2	
		縮小		5					縮小		1	
		廃止	4						廃止			
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大			ゼロ	縮小	現状維持	拡大	
公金投入の方向性(人件費含む)						公金投入の方向性(人件費含む)						

## 【改善策について】(複数回答あり)

		審査員	検討委員
改善すべき点	事業の実施内容について見直しが必要(サービスそのもののあり方等)	8	1
	事業規模について見直しが必要(サービスの水準や対象者等)	3	2
	サービス受給者の自己負担について見直しが必要	0	0
	市以外からの財源の確保を図るべき	3	0
	担い手のあり方について見直しが必要	3	3
	その他	3	1

## 【「その他」の具体的記述】

- ・関連事業との効率的な連携を図り、アウトプット(成果)の拡大を図っていただきたい。
- ・事業内容が分かり難い。
- ・グリーンカーテン整備は全校すべきだが、ESDの必要性はかなり低い。

## 【具体的な改善策提案】

- ・関連事業である堺エコロジー大学との連携等があれば、ESDプログラムもグリーンカーテン整備推進事業も量、質ともに改善されると思われる。部局をまたがる調整はすべき。
- ・環境教育を進めるのであれば、対象学校数(学生数)を増やす必要があると思う。ただし、業者依存のESDプログラムから学校の教員主導型のプログラムに移行させる必要性を感じる。教育委員会は教員主導型プログラムを支援するべきと思う。
- ・事業ミッションがはっきりしない。やる以上はアウトプットをきちんと意識してインプットを考えてほしい。
- ・環境教育に対する堺市のビジョン策定が必要。ESDプログラムは子ども教育夢基金の使い道の一つだけの企画にとれる。特に、ESDプログラムの担い手であるコーディネーター企業への委託の必要性はもう少し検証する必要あり。エコロジー大学との連携を考えるべき。
- ・パイロット的に行っている事業を全体まで持っていくのにどのくらいの時間がかかるのか。今の考え方だとちょっと時間がかかり過ぎると思う。
- ・コンサルに頼らず、学校で自立しなければ、持続的な環境教育にならない。企業活用などの方法では学校間の横の連携がないのでは。

## 平成24年度みんなの審査会(新さかい)審査結果(概要)

事業番号	Ⅲ-3	事業名	環境教育推進事業				
所管	教育委員会事務	局	学校教育	部	学校企画	課	

### 【審査員・検討委員から頂いた審査シート記載内容】

#### 【具体的な改善策提案】

- ・小学校については、教師が研修等でもっと勉強したり、児童がパソコンや本などでもっと自主的に調べるべきだと思います。児童が主体的に取り組むという事ですので企業のサポートはできるだけ、必要な時のみとする方向が良いと思う。
- ・小学校においては先生がもっとそしゃくして、児童に教えるのが良いと思われる。忙しいでしょうがもっと先生が勉強していただきたい。
- ・グリーンカーテンは良い。ESDプログラムはコーディネート業者に頼るべきではない。ネット利用、企業パッケージ研修でこの程度の事は出来る。
- ・「コーディネーター」を行う業者の質、選択方法が全く明らかではないので、それを提示すべきだと思います。
- ・家庭での教育を中心に行う。親の役目ではないか。

#### 【廃止の理由】(複数回答あり)

	審査員	検討委員
行政で行う役割は終了している(事業開始当初の目的は既に達成されている)	0	0
時代の変化に伴う課題やニーズ(需要)を反映していない	0	0
事業の目的を達成するには、別の手段を考える方がよい	2	0
他の事業との結合・再編を検討すべき	0	0
サービス受給者の自助努力に任せるべき(税金を投入する必要はない)	2	0
効果がない(低い)	1	0
その他	2	0

#### (「その他」の具体的記述)

- ・優先順位の問題。他の事業にまわした方が良い。
- ・基礎学力の増強と科学リテラシーの獲得を優先すべき。

#### 【その他意見等】(自由記入欄に記載された意見)

- ・ESD(持続可能な環境教育)とネーミングを変更する事で、今までの成果、効果を更にどう発展させていくか、わかる形で市民に伝える必要がある。
- ・学校教育と社会教育の連携をどう創っていくか。
- ・「環境教育等促進法」の改正を機に環境教育政策の位置づけを更に明確化して欲しい。